

大分県



大分県の

歴史的農業水利施設Ⅰ

—— 美しい農業施設〈農業用水路・ため池他〉 ——



伊東研蔵(当時の庄屋)が、計画を立てたが中止となった。昭和10年、三代憲人村長を中心に着工する。

[長谷緒井路とは]
奥岳川上流大字上畑字鳥屋平を水源とし、緒方町と清川村の1部が受益地である。水路総延長2.2km。
長谷緒井路小水力発電所1300Kw
サイホン4ヶ所
かんがい面積96ha



Data	建設年	昭和10年～昭和13年(1935年～1938年)
	所在地	豊後大野市緒方町小原
その他	その他	三代憲人村長は、1938年1月打ち合わせのため、県庁に向かう途中に死去。 長谷緒土地改良区 tel. 0974-47-2402
	お問い合わせ	



荻、柏原の高原に住む人達の夢を実現した井路工事記念碑。

[荻柏原井路とは]
農業用水に苦しんだ荻・柏原両地区のために、垣田幾馬を中心に事業実施を行った。
大正15年完成。総延長24.4km
トンネル171ヶ所
掛樋7ヶ所
暗渠103ヶ所



Data	建設年	昭和3年(1928年)
	所在地	竹田市荻町
その他	その他	題字 農林水産大臣 山本悌次郎書 荻柏原土地改良区 tel. 0974-68-2238
	お問い合わせ	



岡藩主第4代中川久清公が開削を始め、第5代久恒公の時に完成した。

[緒方井路とは]
上井路と下井路の2つの用水路で、緒方平野に農業用水を供給している。
上井路取入口は、原尻の滝300m上流。
下井路取入口は原尻の滝直上。



Data	建設年	寛文2年～天和3年(1662年～1684年)
	所在地	豊後大野市緒方町原尻
その他	その他	岡藩の穀倉の1つで、緒方5000石といわれる肥沃な耕地。上井路と下井路の2本の水路がある。 緒方井路土地改良区 tel. 0974-42-3165
	お問い合わせ	



■古後井路頭首工

当初、室町時代1441年に開削された。明治32年(1899年)、万年村2代村長小松研治氏の時、工事費1300円で大字南山田字栗野の取入口隧道310mを堀削した。



■古後井路水神祭

[古後井路とは]
玖珠町玖珠地区、受益220haに配水するもの。



Data	建設年	1441年
	所在地	堰一九重町栗野 水路一玖珠町
その他	その他	水路延長約6km 玖珠町土地改良区 tel. 0973-72-1966
	お問い合わせ	



13 田染の荘・小崎地区 < 荘園を今に伝える田園空間 >



■古絵図による田染の荘
(赤茶部分が水田で、青が河川、黄色が道路である。短冊状に周辺にあるのは焼き畑であったということである。)
(元禄2年(1689年)の絵図の写し)

■現在の小崎地区の空撮写真
(上の古絵図の水田・河川・道路・集落の位置などが古絵図と合致している。)



宇佐八幡宮は、平安時代の終わりには、2万町歩を越える荘園を所有していた。田染荘は、「本御荘十八箇所」と呼ばれる根本荘園の1つである。

[田染の荘とは]

宇佐八幡宮荘園村落遺跡である。743年の墾田永代私有令により、雨引神社周辺(赤迫地区)より開発されていった。



Data	建設年	平安時代～鎌倉時代
	所在地	豊後高田市
その他	その他	荘園領主募集中 ①荘園米など:お届け物②催し物招待③芳名板に名前刻印 年会費30,000円/1口
	お問い合わせ	豊後高田市役所農林振興課 tel. 0978-22-3100 荘園の里推進委員会 河野精一郎 tel. 0978-26-2293

14 渡邊伝左衛門の碑 < 島原藩をあげての大工事:上野新池 >



鍋山大堰・上野新池の築堤を島原藩主に嘆願し、許された。

文化14年(1817年) 鍋山大堰築造

文政8年(1825年) 上野新池起工

文政9年(1826年) 上野新池完成

[渡邊伝左衛門とは]

文政8年(1825年)に上野新池の築堤を藩主に嘆願した。島原藩主は熱意にうたれ、藩内の全ての工事を中止し、上野新池の築堤工事をを行った。



Data	建設年	天保6年(1835年)
	所在地	豊後高田市
その他	その他	横に、ほ場整備事業竣工碑がある。
	お問い合わせ	豊後高田市役所 農地整備課 tel. 0978-22-3100

15 小ヶ瀬井路 < 水郷日田を潤す、広瀬久兵衛による農業用水路 >



大原神社前的小ヶ瀬井路

水郷日田の水は、小ヶ瀬井路の水。文化14年(1817年)、塩谷(しおのや)大四郎が日田代官として着任し、着任後、7年目に、博多屋瀬久兵衛が升屋草野忠右衛門を相役として、築造を申し出た。

[小ヶ瀬井路とは]

日田市内の水田A=120haを受益とする。農業用水の水量増により日田川通船が可能となった。



Data	建設年	文政6年～文政8年(1823年～1825年)
	所在地	日田市
その他	その他	総延長2754m このうち隧道900m
	お問い合わせ	日田市土地改良区統合事務所 tel. 0973-23-9611

16 元治水井路之碑 < 150年をかけて完成した農業用水路 >



府内藩主松平対馬守近貞の発案により計画された。約150年を経て完成の形となった。

[元治水井路とは]

庄内町大字西・武宮を水源とし、大分市まで農業用水を送る。水路延長約30km



Data	建設年	碑/第1幹線1727年～1732年 第2幹線1861年～1864年
	所在地	由布市庄内町西
その他	その他	1幹線/佐藤理衛門重継 2幹線/広瀬久兵衛、佐藤室永、佐藤文平
	お問い合わせ	元治水井路土地改良区 tel. 097-582-0279

ひさごいろのひ 提子井路之碑

＜忠犬ハチ公の飼主 上野英三郎先生の撰による記念碑＞



井路開削の功労者の1人、佐藤清兵衛の子孫である佐藤倉喜元代議士が建てた。

〔提子井路とは〕

工藤三助が計画し、工事中止となったが、三助の死後、佐藤夫四郎、佐藤清兵衛等が工事を再開し完成させた。

水路延長43km



Data	建設年	井路 安永2年～6年(1773～1777) 碑/大正7年
	所在地	由布市挾間町小野
	その他	忠犬ハチ公で有名な、農業土木の父、上野英三郎先生が文章を書いている。
	お問い合わせ	提子井路土地改良区 tel. 097-583-0147

はっせいゝいろのひ 初瀬井路之碑

＜井路を開削した日根野織部正吉明公を讃える記念碑＞



碑には、日根野織部正吉明の和歌「幾久し吉明けし初瀬川流れを受けて民も栄えん」が刻まれている。

〔初瀬井路とは〕

大分市の東部に水を導いている。3つの水路からできている。

かんがい面積263ha

水路延長36km



Data	建設年	井路 慶安3年(1650年) 碑/円寿寺
	所在地	大分市上野ヶ丘西23-19
	その他	400年前の国井手といわれた時の受益地は、現大分市内
	お問い合わせ	初瀬井路土地改良区 tel. 097-543-5686

よこせすゝいろのひ 横瀬水路橋

＜トンネルの多い明治大分水路に珍しい水路橋＞



明治大分水路は、大分県の明治時代を代表する用水路である。

〔明治大分水路とは〕

大分市の種田、滝尾、桃園、別保、三佐等に、水を導いている。

かんがい面積276ha

幹線水路延長30.6km

支線水路延長

25.6km



Data	建設年	明治30年(1897年)
	所在地	大分市大字横瀬
	その他	トンネルの多い水路。
	お問い合わせ	明治大分水路土地改良区 tel. 097-558-3641

富水池

＜豊富(臣)氏の誇る日出随一のため池＞



日出藩主 木下俊長の作らせたため池である。俊長公の造った数十ヶ所のため池の最後のため池である。

〔富水池とは〕

日出町にあるため池66ヶ所の随一のため池です。

堤高19.8m 堤長100m

貯水量21.5万t



Data	建設年	正徳2年～4年(1712年～1714年)
	所在地	日出町
	その他	有効貯水量21.5万t
	お問い合わせ	日出町総務課 tel. 0977-73-3150



21

くれさき かん たく
呉崎干拓

＜広瀬久兵衛が、塩屋代官の命のもと完成させたもの＞



文政9年(1826年)塩谷代官の命により、広瀬久兵衛が工事を引き受けたものである。3年半かかった。久兵衛の功を称え、中央の川が広瀬川と命名されている。

[呉崎干拓とは]
江戸末期に豊後高田市の西岸の遠浅海岸を干拓したもの。広さ360ha 1826年(文政9年)～1829年(文政12年)久兵衛37歳～40歳の工事である。



Data	建設年	文政9年～文政12年(1826年～1829年)
	所在地	豊後高田市
	その他	入植者が広島から来たので呉崎干拓という名称になった。
	お問い合わせ	豊後高田市役所 農地整備課 tel. 0978-22-3100

22

く どう さん すけ ふ どう みょうおう
工藤三助の不動明王(西福寺)

＜鑰小野井路開削で夢のお告げ＞



鑰小野井路開削時に、非常に硬い岩があった。工藤三助は考え、不動明王にお願いをした。夢の中で「岩を焼き、水を注ぐよう」告げられた。工事完成後、不動明王を祭った。

[工藤三助とは]
野津原・挾間・庄内の三地域に三つの農業用水路開削を行った人物。
1661年(寛文元年)～1758年(寛暦8年)没年98歳



Data	建設年	1701年以降
	所在地	由布挾間町谷字中恵
	その他	三助は、他にも2体作らせたといわれている。
	お問い合わせ	陣屋の村歴史民俗資料館 tel. 097-583-3941

23

の つ はる さん きよ ひ
野津原三渠の碑

＜三つの農業用水路に関わった工藤三助を讃える＞



大分から熊本への街道沿い(旧野津原町温水)にある。

[野津原三渠の碑とは]
三つの農業用水路を開削した工藤三助を称える碑1859年(安政6年建立)
三つの農業用水路
(大竜井路、鑰小野井路、提子井路)



Data	建設年	碑/安政6年(1859年) 鑰小野井路1707年 完成
	所在地	大分市大字今市
	その他	鑰小野井路と芦瀬井路が合併して現在は世利川井路となっている。
	お問い合わせ	世利川井路土地改良区 tel. 097-588-0646

24

おおたつ いろ
大竜井路

＜工藤三助が最初に拓いた農業用水路＞



水源は、庄内町熊群山の南麓の野畑というところであり、その取入口には、元禄11年の文字が刻まれている。

[大竜井路とは]
工藤三助が最初に開削した水路1698年(元禄11年)～1699年(元禄12年)三助が、38歳～39歳の工事である。
水路延長6km



Data	建設年	元禄11年(1698年)～元禄12年(1699年)
	所在地	由布市庄内町 野畑
	その他	工藤三助の開削した水路
	お問い合わせ	大竜井路土地改良区 tel. 097-582-2846

現代の農業水利施設等

25 しょうわ いろ おお の がわすい かんきょう 昭和井路大野川水管橋



＜戦後、県内の一大懸案事業地区であったが、関係者の努力により成し遂げられた＞

大分市東部では大正14年(1912)に引き続き、昭和元年に、未曾有の大旱魃が発生した。このことにより、昭和井路工事の計画着手となった。

〔昭和井路とは〕
三重町の百枝堰より取水を行い、支線、用水線を含めると84.17kmに及ぶ。昭和17年～昭和21年まで国営で行い、昭和22年より、「農地開発事業大分県代行昭和井路建設工事」として県営で実施、昭和33年に完了に到った。



Data	建設年	昭和17年～昭和33年
	所在地	大分市
	その他	管径φ1300 延長408m
	お問い合わせ	昭和井路土地改良区 tel. 097-597-2805

かんがい面積
1538ha

26 しだはら 師田原ダム <大野の畑地水源>



大野の畑地帯には、水源がなかった。そこで、県営灌漑排水事業大野原地区で師田原ダムを造成した。水田284ha、畑876haの灌漑を行っている。

〔貯水量〕総貯水量:327.6万t 有効貯水量:291.2万t



Data	建設年	昭和45年～昭和55年(1970～1980)
	所在地	豊後大野市大野町
	その他	ダムの水で発電もしています。
	お問い合わせ	大野町土地改良区 tel. 0974-34-2723

27 せんちょうむ た 千町無田 <伝説の荒野が良田に蘇った>



〔千町無田とは〕
風土記に「この地は、昔大変肥えていたが、餅を的にしたため、水田が荒れてしまった。」との記述がある。明治時代まで、葦の茂った湿地帯であった。しかし、明治27年旧久留米藩士青木丑之助による開墾により200町歩近い水田となった。昭和48年、圃場整備完了。



Data	建設年	明治27年、昭和48年
	所在地	九重町大字田野
	その他	明治38年 秋田県より取り寄せた水稻品種「開山」により、開墾成功の見通しが立った。
	お問い合わせ	千町無田土地改良区 tel. 0973-79-2804



28

こうばるけいこく

神原溪谷大橋

<国内最大ロアリング工法による美しい農道橋>



台地と台地を結ぶ農村地域の幹線道路となっている。

●広域農道大野川上流南部の神原溪谷大橋は、祖母傾国定公園の入口である竹田市南部の神原川を横断するコンクリートアーチ橋（橋長236m）である。

●ロアリング工法での施工方法では、国内最大である。

Data

建設年 平成14年3月
所在地 竹田市大字神原
その他 逆ロアリングタイプのアーチ形式
お問い合わせ 大分県大野川上流開発事業事務所 tel. 0974-68-2723



29

こうした

香下ダム

<宇佐平野の農業水源の一つ>



有効貯水量 = 202万tのダムである。

日出生ダム集水流域の73%を占める自衛隊日出生台演習場地域の荒廃が進んだため、不足を生じるようになった農業用水の確保のために、院内町の妙見川に築造された。

[香下ダムとは]

堤高:H=40.6m 堤長:L=195m

形式:重力式コンクリートダム

総貯水量:220万t 有効貯水量202万t

Data

建設年 昭和60年～平成7年
所在地 宇佐市院内町香下
その他 障害防止対策事業で実施
お問い合わせ 駅館川土地改良区連合 tel. 0978-32-3619



30

こだいせき

小田井堰

<番匠川随一の堰>



佐伯藩5代藩主毛利高久公の家臣小林九左衛門が藩主に出願、水路工事に着手した。文政9年(1826)完成、昭和39年(1964年)堰改修。

[魚道整備とは]

平成9年に河川法が一部改正となり、河川管理の目的として、「治水」、「利水」に加え「河川環境」(水質、景観、生態系等)の整備と保全が位置づけられた。番匠川水系では魚を育む流れづくりを推進するため、既存農業用井堰の魚道整備を行った。

Data

建設年 昭和39年9月改築
所在地 佐伯市弥生大字小田(左)、門田(右)
その他 堰延長 L=205m
お問い合わせ 小田井堰土地改良区 tel. 0972-24-3035



美しい農村景観

—日本の棚田百選より—

日本には、多くの棚田があります。全国の棚田の中から、営農の取組みや、維持管理状況から、100の棚田が選定されています。大分県では、6つの棚田が選定されました。

31

ゆふがわおくづめ 由布川奥詰

<棚田の背後に由布岳が見える>



Data 所在地 由布市挾間町内成
その他 5ha、87枚
お問い合わせ 由布市農政課
tel. 097-583-1111

32

うちなり 内成棚田

<棚田の枚数は、約千枚。まさに千枚田>



Data 所在地 別府市大字内成
その他 42ha、1,000枚
お問い合わせ 別府市農林水産課
tel. 0977-21-1111

33

しくまるきた 軸丸北

<1100枚の棚田が、分岐して連結している>



Data 所在地 豊後大野市緒方町軸丸
その他 52ha、1,100枚
お問い合わせ 緒方支所産業建設課
tel. 0974-42-2111



34

やまうらそうす
山浦早水

じおん
＜慈恩の滝近く。かくれ里的棚田＞



Data 所在地 玖珠町大字山浦
その他 6ha、120枚
お問い合わせ 玖珠町農林課
tel. 0973-72-1111

35

りょうあい
両合棚田

こてえ
＜院内町は、石橋・鍔絵・両合棚田＞

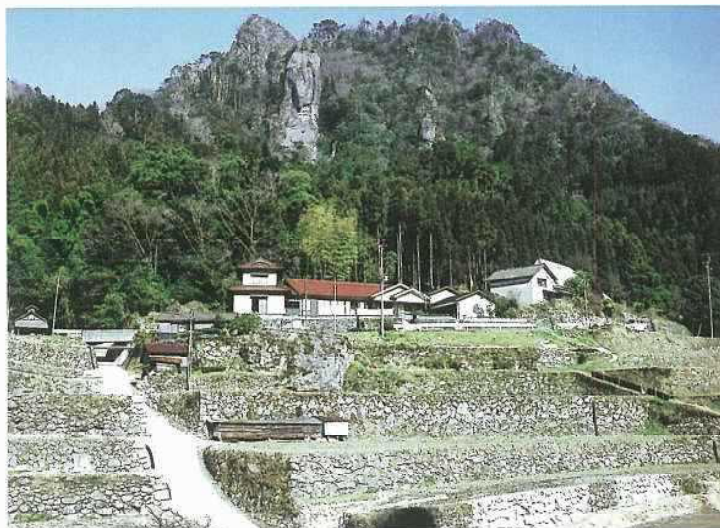


Data 所在地 宇佐市院内町小平・滝貞
その他 7ha、150枚
お問い合わせ 院内支所産業課
tel. 0978-42-5111

36

はたか
羽高棚田

＜山間の小さな棚田。山も見てほしい＞



Data 所在地 中津市山国町中摩
その他 5ha、70枚
お問い合わせ 山国支所産業振興課
tel. 0979-62-3111

大分県農林水産部 農村整備計画課
農村基盤整備課
tel:(代)097-536-1111

東部振興局	農林基盤部	tel:0978-72-1215
東部振興局	日出水利耕地事務所	tel:0977-72-2018
中部振興局	農林基盤部	tel:097-506-5743
南部振興局	農林基盤部	tel:0972-22-1102
豊肥振興局	農林基盤部	tel:0974-63-1175
豊肥振興局	豊後大野事務所水利耕地部	tel:0974-22-0202
豊肥振興局	大野川上流開発事業事務所	tel:0974-68-2723
西部振興局	農林基盤部	tel:0973-23-2208
北部振興局	農林基盤部	tel:0978-32-0149